

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹、炭山嘉伸

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀、渡邊聡明

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

今回の特集は「消化器癌外科治療の randomized controlled trial (RCT)」というテーマでお送りする。近年、医学論文のエビデンスレベルが色々と規定され、このRCTなるものが高エビデンスレベルに値する研究といわれてきており、多くの外科医もこれにならって様々な RCT による研究を進めてその結果を発信するようになってきている。もちろん、この臨床研究における RCT が比較対照群の設定などにおいてこれまでの retrospective study に比べてより信頼性の高い結論を導きだせることは間違いないことであろう。しかし、RCT もときに同じ研究目的で行われたにもかかわらず、正反対あるいはほかの RCT の結果を否定するような答えを導きだしている報告をしばしばみかける。このことは、とりもなおさず 1 つ 2 つの RCT の結果によっては controversy となっている現況の課題を結論づけることはできないということを強く認識させるものであろう。われわれ臨床医は RCT の意義、重要性についてはもちろん認知すべきではあるが、その評価については常に慎重であるべきであろう。また外科手技についての妥当性および臨床的意義を検討する際の RCT の困難性はしばしばわれわれの経験するところである。新たな手術手技の開発などは、retrospective な症例研究解析から創造されるアイデアが端緒となる。そのような症例研究の重要性を外科医は決して忘れてはならない。もちろん、新たな術式が開発され安全性も確保されたのには、その臨床的意義について RCT を含めた質の高い研究が実践されていくことは当然であろうが、その seed たる独創性の高いものを生むアイデア、創造性は日々の現場臨床に潜んでいることを忘れてはならないであろう。

(宮崎 勝)

臨床外科 (第 64 巻 第 6 号)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
☎ 社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2009 年 6 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

2009 年年ぎめ予約購読料 40,160 円
MedicalFinder パーソナルオプション付 52,200 円
増刊号を含む 13 冊、税込、送料小社負担

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp

担当 田村・阿部・安部
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- JICLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌を複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。